

留学時「日本たたきに」抗議

米議員と16年ぶり再会

草加市議会「政治家目指す契機」とお礼
副議長

草加市議会の瀬戸健一郎副議長(35)が渡米、ビル・クリントン大統領と対立する連邦議会ナンバーワンの実力者といわれるビル・アーチャー下院議員(共和党)と16年ぶりに再会した。

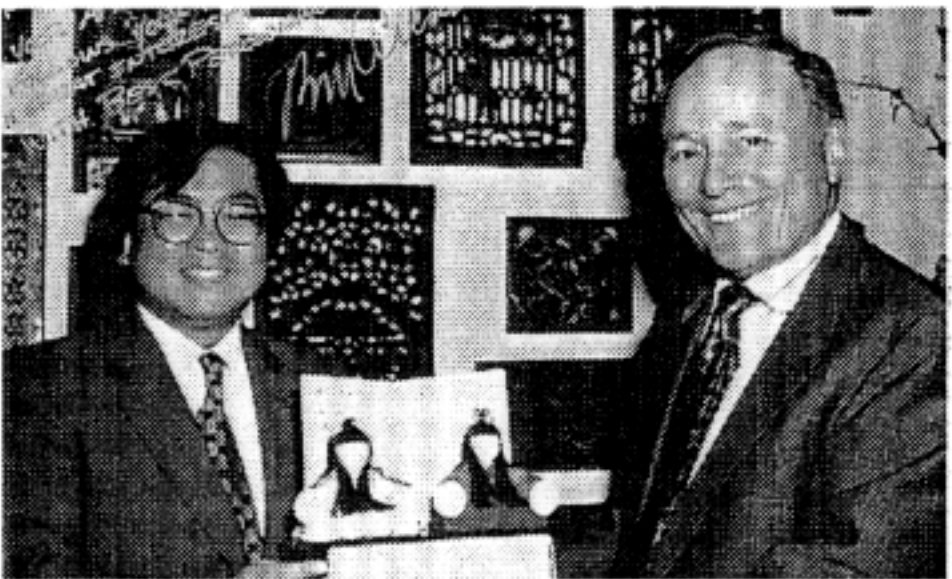
瀬戸氏とアーチャー議員との出会いは、高校3年当時に留学したテキサス州ヒューストン市立ベルエア高校での卒業式。祝辞で「今後、ジャパンバッシングが必要」と方説したアーチャー議員に対し、瀬戸氏は「衷

に心外で悲しい」と抗議。しかし、アーチャー議員は世界的視野で瀬戸氏を説得、反論できなかった瀬戸氏は同議員に「日本の政治家にない魅力を感じ、この出会いが私が政治家を志す契機になった」とい

う。

アーチャー議員はいま下院歳入委員長を務める。留学生当時のホストマザーが昨年春、「抗議した日本人高校生があなたにあげたが、日本で市議会副議長になっている」と、同議員に知らせたことから2人の交流が再開した。

昨年11月、アーチャー議員から草加市内の瀬戸氏宅に星条旗が贈られ、同封の手紙には「瀬戸氏の名誉をたたえ、連邦議会に掲揚した星条旗を贈ります」とのメッセージが書かれていた。この返礼のため、瀬戸氏はこのほど連邦議会にアーチャー議員を訪ね、草加市在住の人形師が制作した日本人形をプレゼント。アーチャー議員は市議会副議長になった16年前の日本人留学生を大歓迎。地元ヒューストン市での政治集會まで案内したという。瀬戸氏は「大物政治家が市民ひとりひとりと政策を真剣に話し合う姿に触れ、民主主義の伝統が日本と違うことを知らされた」と話す。



ビル・アーチャー米連邦議会下院議員に日本人形を贈る瀬戸健一郎草加市議会副議長(左)